

始良・伊佐地域感染症情報

2021年 第50週報 (12月13日～12月19日)

【発行】始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部

【発行日】令和3年12月24日

【問合せ先】鹿児島県始良保健所

TEL (0995) 44-7956 / FAX (0995) 44-7969

○始良・大口保健所管内ともに引き続き手足口病警報発令中です(始良保健所では16週連続、大口保健所では11週連続で流行発生警報域です。)

○新たな変異株であるオミクロン株が出現し、世界中で拡がりを見せるつつある中、国内でも1例目のオミクロン株患者が11月30日確認されました。感染拡大に対して危機感が高まる中、個人でできる基本的な感染予防策として推奨されているのは、変異株であっても従来同様、**3密の回避**、**特に会話時のマスクの着用**、**手洗いなどの徹底**です。

年末年始に向けて人流の増加も想定されます。より一層、徹底した対応をお願いします。

○『ノロウイルスに関するQ&A』『腸管出血性大腸菌Q&A』が改訂されました(R3.12.10 厚生労働省)

○『学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル(2021.11.22 VER.7)』について、次亜塩素酸水の取り扱いに関する内容が一部修正されました。(R3.12.10)

定点把握疾患の報告数

	疾病	警報基準値		注意報基準値	始良保健所管内推移					大口保健所管内推移				
		(開始)	(終息)		47週	48週	49週	50週	先週からの増減	47週	48週	49週	50週	先週からの増減
内科・小児科定点	インフルエンザ	30.0	10.0	10.0	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
小児科定点	RSウイルス	—	—	—	1.86	1.57	3.86	4.71	↗	0.00	9.00	10.00	16.00	↗
	咽頭結膜熱	3.0	1.0	—	0.29	0.29	0.29	1.00	↗	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	A群レンサ	8.0	4.0	—	0.29	0.14	0.29	0.29	→	1.00	0.00	0.00	0.00	→
	感染性胃腸炎	20.0	12.0	—	3.14	3.43	6.14	6.29	↗	1.00	0.00	1.00	2.00	↗
	水痘	2.0	1.0	1.0	0.43	0.00	0.14	0.00	↘	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	手足口病	5.0	2.0	—	5.86	7.14	6.43	4.71	↘	6.00	3.00	3.00	2.00	↘
	伝染性紅斑	2.0	1.0	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	突発性発疹	—	—	—	0.14	0.57	0.71	0.57	↘	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—	0.86	0.86	0.14	0.14	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0	0.00	0.14	0.14	0.00	↘	0.00	0.00	0.00	0.00	→
眼科定点	出血性結膜炎	1.0	0.1	—	0.00	0.00	0.00	0.00	→					
	流行性角結膜炎	8.0	4.0	—	0.00	0.00	1.00	0.00	↘					
基幹定点	細菌性髄膜炎				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	無菌性髄膜炎				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	マイコプラズマ肺炎				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	クラミジア肺炎				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)				0.00	0.00	0.00	0.00	→	0.00	0.00	0.00	0.00	→
インフルエンザ入院患者(人)					0	0	0	0	→	0	0	0	0	→

…警報発令中

…注意報発令中

全数把握疾患の報告数

	始良保健所管内	大口保健所管内
一類感染症	届出なし	届出なし
二類感染症	結核1件	届出なし
三類感染症	届出なし	届出なし
四類感染症	つつが虫病1件/ レジオネラ1件	届出なし
五類感染症	届出なし	届出なし

新型コロナウイルス感染者数(人)

	始良保健所管内	大口保健所管内
今週	0	0

患者等の発生があった場合、保健所は『感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）』に基づき積極的疫学調査を実施します。
感染源の推定と接触者の把握をし、感染拡大を防ぐために行う調査です。

本人あるいは保護者への聞き取り調査が主となりますが、その調査の中で、患者の所属する勤務先や学校等にも調査の必要があると判断された場合は、以下の内容等について聞き取りや情報提示をお願いすることになります。

第6波の感染流行や変異株への驚異も高まってきている中、各事業所・学校等においてもできる範囲で下記の準備を進めておくことをお願いいたします

- ① **保健所との連絡窓口担当者**（氏名・連絡先等）
- ② **在籍者名簿**（以下の**接触者名簿**を参考に、作成しておいて下さい）
- ③ **施設の見取り図**（患者が出た場合は、患者が在籍するフロアや教室）
- ④ **座席表**（患者が出た場合は、本人席を太枠で囲う）
- ⑤ **有症状者の発生状況の有無・確認**（日々の健康状態の記録・管理をお勧めします）
- ⑥ **事業所・学校等内での患者の行動歴や接触状況**

※②③④については、提出をお願いする範囲は患者発生時に改めて保健所からご連絡いたします

※患者本人への聞き取り調査を元に感染可能期間（概ね発症2日前から最終出勤・登校日まで）を判断しますので、この期間について状況を確認していただくことになります。

【②の参考様式：接触者名簿】

項目順は
そのままで

施設	氏名	フリガナ	生年月日/年齢/性別			連絡先 (携帯等)	職業・所属	住所	症状	基礎疾患	接触内容/3 密 滞在歴/マスク の有無確認	車種 座席ナンバー 色	備考	最終接触日 ○/○(半 角)	調査完了 (最終か ら2W)
			西暦 ○○○○.○○.○○	年齢 (半 角)	性別										

始良保健所のHPを検索『始良伊佐地域振興局』

トップページの目的別情報 **健康・福祉** > **健康・医療** > **新型コロナウイルス感染症に関すること**

この中にある『**新型コロナウイルス感染症接触者名簿**』というエクセル様式を**ダウンロード**してください

冬は特にご注意ください！



による

食中毒

食中毒は夏だけではありません。
ウイルスによる食中毒が
冬に 多発しています!!!

データでみると

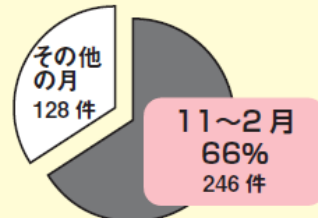
ノロウイルスによる食中毒は、

◆患者数で第1位



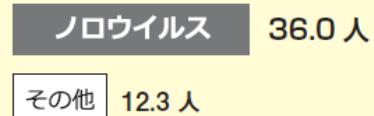
原因別の食中毒患者数（年間）

◆冬期に多い



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数（年間）

◆大規模な食中毒になりやすい



食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（平成24～28年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の

健康管理

- 普段から感染しないように食べものや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 毎日作業開始前に調理従事者の健康状態を確認し、責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの

手洗い

- 洗うタイミングは、
 - ◎トイレに行ったあと
 - ◎調理施設に入る前
 - ◎料理の盛付けの前
 - ◎次の調理作業に入る前
 - ◎手袋を着用する前
- 汚れの残りやすいところを
ていねいに
 - ◎指先、指の間、爪の間
 - ◎親指の周り
 - ◎手首、手の甲

調理器具の

消毒

洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/topics/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html>

ノロウイルスQ&A

検索



厚生労働省

ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・ リネン類などの

消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器等は、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
 - 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときには、洗剤を入れた水の中で静かにのみ洗いし、十分すすぎます。
 - 85℃で1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
 - 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

おう吐物などの

処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
 - 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
 - ペーパータオル等（市販される凝固剤等を使用することも可能）で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
 - 拭き取ったおう吐物や手袋等は、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1000ppmの塩素消毒液に浸します。
 - しぶきなどを吸い込まないようにします。
 - 終わったら、ていねいに手を洗います。

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。

	食器、カーテンなどの 消毒や拭き取り 200ppmの濃度の塩素消毒液		おう吐物などの 廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppmの濃度の塩素消毒液	
	液の量	水の量	液の量	水の量
製品の濃度				
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L

- ▶ 製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかりと確認しましょう。
- ▶ 次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶ おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、**有毒ガスが発生することがありますので**、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶ 消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、**消毒液であることをはっきりと明記して保管**しましょう。

ノロウイルスによる感染について

感染経路	症状
<食品からの感染> ● 感染した人が調理などをして汚染された食品 ● ウイルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など <人からの感染> ● 患者のふん便やおう吐物からの二次感染 ● 家庭や施設内などでの飛沫などによる感染	<潜伏時間> 感染から発症まで24～48時間 <主な症状> ● 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1～2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。 ● 乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。